

大阪歯科大学 兵庫県校友会報

No. 22

発行所

神戸市生田区山本通

5丁目41

電話8337-9

編集発行人

村井俊郎

従容として仁の道

を行く大歯精神

大歯兵庫県校友会長 奥野半蔵

うま年を迎え、会員各位の健康と福祉をお祈りしたい。

毎年のことではあるが、各位のご協力に対し、心から感謝しています。つねにわれわれの進むべき道はレールが敷かれていてそれを走っている。民主主義の錦のみ旗で、自由奔放な秩序なしな暴走は許されない。整然たる社会秩序、ローアードオーダーは守られている。無秩序の論理は通らない。

私は第十三回新卒業生歓迎会で、大歯精神は

「従容として仁の道を行く」にありといいました。むつかしいがよい表現だと信じています。まさに政治的には形式にとらわれず、性格的に欲望もなく、文化的には洗練された感覚、精神的には安定した美醜、吉凶、禍福にとらわれぬ、驕然たる世相に静まり返ったさまは日本人的な大歯精神だと思う。

この言語の起源は幕末儒者伊良子大洲



先生の

「義は仁より出でて従容として道を行き、俠は情より起り、妄動として目的を達す。故に俠は相助けて非をなす。」

からとったもので私は俠の道はとりたかない。

栄枯は夢かまぼろしかといわれるが、

仁の道はすたれない。馥郁たる香気を放つ、わが兵庫県大歯校友会!!

仁は最高道徳で慈愛博愛の意味、しか

も道徳はつねに固定したものではない。社会の変化にしたがつて若干の流れがある。義となると行動的の意味がふくまれる。

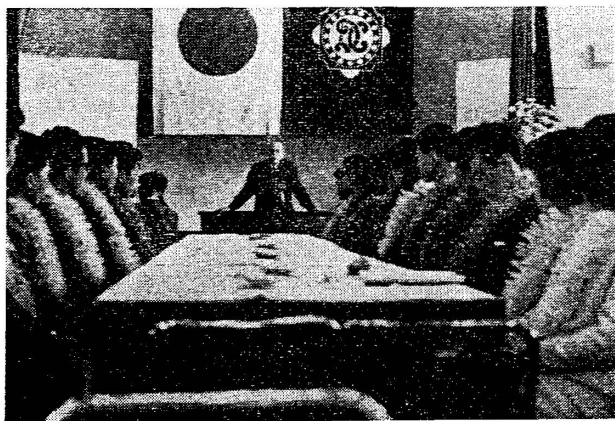
孟子は特に義をアキシヨンにおいている。社会集団の中では義は観念的行動論となり、仁は特にその上に心理学上の存在となる。近代的イメージは必ずしも仁を理解しがたいかもしれない。

われわれはマスコミの中に生きているが、政治も人のすることだ。奇手、妙手でなく、堂々と立派な、信義のある誠実な医政こそ、みなから親しまれ愛される。どうか大歯校友だけでも「仁の道」を進んでほしい。われわれ同志ではサポート・ウィズアウト・コントロールでありたい。

うまの年で相当家庭、地域、職業、友人などの集団からコントロールを受けるが、社会文化育成のためよろこんで生きぬこう。

大歯校友会のボランティア・ワーク（民間奉仕活動者）として。





昭和40年度

大歯精神を忘れるな

新卒歓迎会

大阪歯科大学兵庫県校友会の今年度の新卒生生の歓迎会が、二十七名の若人を迎えて、十二月六日（日曜）午後一時から兵庫会館二階ホールで盛大に催された。

内田副会長の開会のことは、校歌斉唱につづいて奥野校友会長から

「今日はみなさんが大学で研修してきたことを社会へ還元するための門出である。今後いろいろな面で先輩の力を借りなければならぬ時もあると思うが、上下一丸となって、『従容として仁の道を行く』という大歯精神を忘れないようやっていただきたい」。

このあと磯島理事から新卒生、来賓ならびに兵庫県校友会の役員との本部校友会の概況報告があり新卒生に対して会長から記念品の贈呈（代表畔脇良逸君）が行なわれた。

ひきつづいて白数学長、緒方大歯校友会

会長、沢田他校友会会長代表、西山近畿地区校友会代表などの来賓諸氏からそれぞれお祝と激励のことがあり、新卒生を代表して、高田邦彦君から

「兵庫県校友会として恥づかしくないよう行動いたします。」

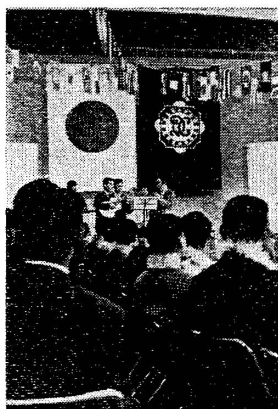
旨の謝辞が力強くのべられた。

なおこのあと兵庫県の校友で本年度めでたく学位を獲得された、前野康彦（伊丹）、井上文雄（相生）の両氏に対して記念品が贈呈された。

いよいよお楽しみ第二部にうつってガラリと趣向を変えた河原理事の名司会で、一陽斎正一の奇術、笑福亭松鶴の落語に驚嘆と笑いの一刻を過ごし、土居二郎氏（葺合）のひきいるヒマナシ・スターズの名演奏、加うるに磯島理事の愛娘洋子嬢の特別出演で錦上花をそえ、なかなかフンイ気のうちにラッキーカード

の抽せんで悲喜コモゴモッ

という次第



ヒマナシ・スターズの名演奏

ラッキーカード当選者

- 一等 一五九番 浜田
- 二等 一〇二番 藤尾
- 二等 一七六番 津田
- 三等 〇三八番 林
- 三等 〇五三番 増田
- 四等 一〇八番 楠瀬
- 四等 〇六九番 佐々木
- 四等 一五一番 矢野
- 四等 一五三番 内田
- 五等 一八四番 石崎
- 五等 〇七一番 中川
- 五等 〇一二番 春野
- 五等 一六二番 塩見
- 五等 〇二七番 高橋
- 五等 一六四番 菊地

昭和四十年年度

第十三回 大阪歯科大学新卒生

- 畔脇 良逸 尼崎市潮江前田二一
- 井堂 孝純 垂水区西垂水野田通
- 池沢 誠治 芦屋市月若町六五
- 磯島 謙 葺合区中島通二の四八
- 大友 克巳 尼崎市森二二五井上齒科診療所
- 川口 茂 兵庫区荒田町三丁目二の四
- 小西 健介 高砂市鍵町五八八
- 後藤 治久 西宮市鳴尾町三の一六
- 関 紘志 尼崎市神田中通七の二四六 福本方
- 高田 邦彦 西宮市浜甲子園一の六七
- 高橋 靖昌 兵庫区五宮町二六
- 高橋 芳郎 尼崎市三反田屋敷一七八
- 武田 守生 東灘区本山町岡本二〇五の一〇
- 竜田 安司 揖保郡太子町 小田町二二八
- 谷 明 芦屋市東芦屋町七七
- 中西 孝一 西宮市甲子園口二の二八五
- 林 和彦 垂水区西垂水清水通二五
- 藤本 忠雄 姫路市広畑区東新町三の三五
- 藤原 宗 洲本市紺屋町乙一六六の一
- 古田 巖 三田市蓋本一〇〇七
- 牧野 恵子 宝塚市小林南畑一四の二三
- 松本 典子 灘区高羽常盤木二四の二
- 水野 康朗 尼崎市杭瀬大崩一六
- 森寺 邦徳 兵庫区五ノ宮町二四一
- 矢富 紀彦 尼崎市大庄中通一の九七
- 矢野 くみ 兵庫区山田町上谷上登尾三二
- 吉田 興二 尼崎市東園田町三丁目八〇の一〇

白数学長

めでたく当選



日本学術会議第七期会員

たく再度当選の栄誉を勝ちとられた。得票数も一五三七票と予想を上回る成績であり、会員各位の協力もさることながら、ひとえに白数学長の手腕、力量のしからしむるところであり、ますます今後の活躍と業績が期待されるものである。

小野寅之助名誉教授

名誉の叙勲

小野寅之助名誉教授は永年歯科界に尽くした功績をたたえられ、昭和四十年十一月三日付で、勲四等旭日中綬章の叙勲が発表され、十一月十二日、東京において伝達式がとり行なわれた。

第二回常任理事会

本年度の第二回常任理事会が十月二十二日(金曜日)午後七時から兵庫会館で開かれた。

新卒業生の歓迎会をひかえて、マンネリを打開し、会員に魅力あるものとするため、今後のあり方について種々検討され、P・Rにいつそう力を注ぐとともに、今後は支部長会をこの機会に開催することなどが決められた。

また来年度の交歓旅行会の企画について名田副会長から、詳細な資料とともに原案が示され、いろいろ討議された結果、次期の当番である神戸分会の決定どおり、来年の七月九日(土)、十日(日)の両日びわ湖畔のホテル紅葉で開催することに決定した。

なおこのあと奥野会長、磯島理事から校友会をめぐっての最近の諸情勢について、詳しく説明がなされ、大歯は大同団結すべきであることを全員再確認し、理事会を終えた。

支部長会開く

年の瀬もおし迫った十二月五日(日曜日)午前十時から、兵庫会館ホールにおいて今年度の支部長会が開かれた。

奥野校友会長のあいさつについて、各担当理事からそれぞれ報告が行なわれ、名田副会長から校友会本部の報告があったのち、今秋の台風で被害を受けられた会員に対し、心ばかりのお見舞金がおくられた。

新年互礼会

日時 昭和四十一年一月一日午前二時
場所 兵庫会館ホール
会費 無料

兵庫歯科医師会恒例の新年祝賀の名刺交換会が右のように行われます。多数校友会員の先生方のご参加をお願いいたします。

人工歯もジーシーにおまかせ下さい



〈新発売〉

精魂こめて作った

新しい陶歯

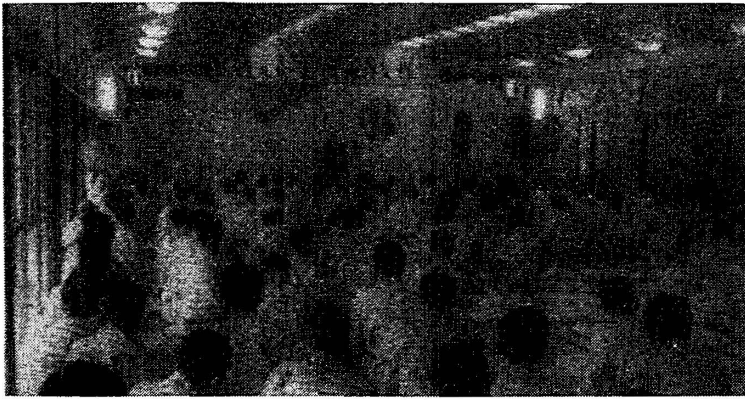
ニルツクス 有孔陶歯
… 蛍光性・真空焼成…

ニルツクス 金ピン付陶歯
… 蛍光性・真空焼成…

ジーシーの人工歯

- ビトロ(硝子歯) — 蛍光性・金ピン付・真空焼成 —
- テクニ陶歯(白歯) — 蛍光性・真空焼成陶歯 —
- ウエアレス・レジン歯 — 蛍光性・抗磨耗 —
- ジーシーレジン歯 — 蛍光性・耐磨耗 —
- エパレジン白歯 — 蛍光性・超硬質 —

而至化学工業株式会社



今年で十一回目を迎えた恒例の大歯兵庫
県校友会の交歓旅行会は、七月十日、
十一日の両日、愛知県三河三谷温泉「松
風園」で行なわれたが、参加人員は年々

楽しかった夏の一日

交歓旅行会

三河三谷でのつどい

増加の一途をたどり、今年は会員家族約
三百名が参加し、来賓に竹中大蔵政務次
官、緒方校友会長、渡辺愛知県歯会長、
母校よりは新田、柳生、白山、多和各教
授、村中事務局長の出席をえて盛大に行
なわれた。

今回の特徴は冷房付の高速デラックス
バスをチャーターしたことであり、七月
十日のきびしい暑さもなんのその、冷房
のきいた快適な車内で、尼崎会員の、お
しほり、弁当、ビールと行き届いたサー
ビスを受けながら、名神高速道路をひた
走り。

午後五時三十分、馬場副会長の開会の
ことばではじまった式は、奥野会長のあ
いさつのもと、竹中大蔵政務次官から当
面の医療費、税金の問題、政界の裏話な
ど興味深い話があった。つづいて来賓の
あいさつ、記念撮影ののち宴会にうつつ
た。

緒方校友会長の乾盃の音頭ではじめら
れた宴は、奥野会長夫人によるラッキ
ーカードの抽せんなどをまじえて終始なご
やかに進められ、歓談のうちに夏の楽し
い一日を過ごした。

交歓旅行会



あいさつする竹中大蔵政務次官

来年度は

びわ湖畔

ホテル紅葉へ

昭和四十一年

七月九日(土)

十日(日)

風光明眉
交通至便
ホテルは超一流

ホワイト鑄造床 コハルト
フォーム

ホワイト圧印床 188 型

及び特殊技工



御一報次第阪神明間参上
致します
製作期間 4日

三原歯研工業株式会社

神戸市灘区八幡町2丁目42

TEL (35) 2177